

共生社会の実現

インクルーシブな地域づくりの推進  
認知症フレンドリーなまちを目指す

(市民クラブ藤沢)

【質問】 少子超高齢化の進展に伴い、認知症患者が増加し、認知症対策が大きな課題となっている。本市においても認知症に優しい共生社会の実現に向け、さらに取り組んでいくべきと思うが、今後の展開について聞きたい。

【答弁】 藤沢おれんじプランでは「知る・集う・支える」をキーワードに、令和2年度は「知る」取組として、小中学生をはじめとした若い世代に認知症理解を一層広げていく。公共交通機関など、市民の暮らしを支える機関等と共に、さらなる周知・啓発に努めていく。

子育てに優しいまち  
切れ目のない支援を  
切れない支援を

(ふじさわ湘風会)

【質問】 本市の未来を担う子どもたちのために産後ケアや病児保育、待機児童対策、放課後児童対策等の子育て支援はもろろんのこと、進学期や就職期に至るまでの

切れ目のない支援が必要と考えるが、市の見解と今後の方向性について聞きたい。

【答弁】 子育て政策として、誰一人取り残さない、温かい地域共生社会の実現に向け、子育てをする誰もが、子育てしやすいまちを実現できるように、子育て支援の視点と、親子の健康の視点の両面から展開していく。

健康寿命日本一  
歩くをキーワードに

(市民クラブ藤沢)

【質問】 健康寿命日本一の取組は、総合指針2020に位置づけることで、リーディングプロジェクトとして重点的に進めてきたが、現状をどのように捉えているのか。また、庁内横断的な取組と併せて、その推進体制についても聞きたい。

【答弁】 本市の健康寿命日本一の取組の現状は、リーディングプロジェクト策定時に健康寿命の参考数値として記載している、神奈川県が算出した「65歳からの平均自立期間」の平成26年度と最新の28年度のデータを比較すると、男女とも伸びており、県内での順位も上昇している。これは健康増進計画の策定や健康都市宣言などをはじめとする、健康寿命の延伸に向けた様々な取組によるものと認識している。

女性のがん検診  
環境整備に努める

(藤沢市公明党)

【質問】 女性のがん検診受診率向上について、国の検診では女性のライフステージを踏まえた対策や、検診を受けにくいと感じる様々なバリアやハードルを減らすための効果的な方法を検

討するべきとしている。休日検診やマンモグラフィ検診のさらなる充実などの取組が必要と考えるが、見解を聞きたい。

【答弁】 がん検診受診率の向上については、対象者に個別勧奨を実施しており、国の補助事業に基づき、乳がん検診では40歳を、子宮頸がん検診では20歳を対象としたための効果的な方法を検



身近な場所で受診しやすいマンモグラフィ検診車

付するとともに、本市独自の未受診者への再勧奨を行っている。また、女性の就業率が上昇を続ける中、子育て世代は平日の受診が困難であるなど、女性のライフステージごとの課題や、若年層の検査に対する不安の軽減など、対策が必要と捉えている。

受診しやすい体制の充実として、マンモグラフィ検診車による乳がん検診を年6回行い、また、10月20日のジャパンマンモグラフィに合わせ、一部の医療機関で休日の検診実施が広がってきている。さらに、協定締結企業との連携による周知啓発や、休日に検診を実施している医療機関を掲載したチラシを作成し、様々なイベントで配布するなど、市民への周知に努めている。

介護者を取り巻く課題  
多様化するケアラーへの支援  
支え合いの地域づくりを推進

(民主・無所属クラブ)

【質問】 家庭で介護をするために仕事を辞めざるを得ない「介護離職」、子どもや若

い人が家族を介護する「ヤングケアラー」など、介護する人を取り巻く課題が浮き彫りになってきているが、支援は全く十分とは言えない。このような状況について見解を聞きたい。

【答弁】 本市では、ケアを担う方の地域での孤立防止や、介護負担による虐待の予防を目的に、家族介護者教室などを開催してきた。さらに令和元年度はバックアップふじさわの相談支援員などを対象に、ヤングケアラーについての理解を深めるための意見交換会を実施し

た。しかし最近のケアを担う方々の状況は、一人の介護者が複数の方のケアに当たるダブルケアの問題など多様化している。2年度は、高齢者や障がい者という分野を超えて、ケアを担う方に対し、二人で抱え込まず、頑張り過ぎないことを伝えるツールの作成や、相談支援に当たる専門職が支援を必要とするケアの担い手を早期把握するためのツールの活用などを検討している。

気候変動対策  
実行性のある取組を

(日本共産党藤沢市議会議員団)

【質問】 気候変動対策は喫緊の課題であり、神奈川県が気候非常事態宣言を受け、本市も宣言を行い、危機感を持って取り組むことが重要と考えるが、見解を聞きたい。また、今後の温室効果ガス削減の目標値を引き上げ、実効性のある取組が必要と考えるが、見解を聞

きたい。

【答弁】 本市としては、県の気候非常事態宣言に賛同し、市民・企業など多様な主体と連携し、危機感を持って対策を進めていく。

実行性のある取組として、基礎的取組では、エコライフアドバイザー派遣事業や国の補助制度を活用したケールチョイス啓発事業などを実施しており、今後も継続していく。

また発展的取組では、再生可能エネルギーの普及策として、太陽光発電システムなどの補助制度を継続し、さらに、北部環境事業所のごみ焼却発電を活用し、エネルギーの地産地

お知らせ

「ふじさわ市議会だより」は、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、会議録をご覧ください。なお、会議録は、図書館、市民センター、公民館、市政情報コーナー(市役所本庁舎4階)、または市議会のホームページでご覧いただけます。2月定例会の会議録は5月下旬ころから閲覧できます。

傍聴についてのお知らせ

閉会中に開催する諸会議及び6月定例会は、右の日程表のとおり開催する予定です。なお、皆様の健康を守る観点から、新型コロナウイルス感染拡大の影響が収束されるまでの間、議会の傍聴はご遠慮いただいております。

閉会中に開催する諸会議

開催日	開催時刻	会議名
5月20日(水)	10:00	5月臨時会
5月22日(金)	13:00	災害対策等特別委員会(水防訓練現地視察)
5月25日(月)	9:30	藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会
6月3日(水)	15:30	議会運営委員会
6月4日(木)	9:30	災害対策等特別委員会

請願と陳情のご案内

6月定例会では、請願・陳情ともに6月3日(水)正午までに提出されたものを審査します。また、請願者と陳情者は、希望により委員会において趣旨説明(意見陳述)を行うことができます。※提出方法については議会事務局議事課にお問い合わせください。

6月定例会

開催日	開催時刻	会議名
6月8日(月)	10:00	本会議(議案の説明)
10日(水)	10:00	本会議(議案の審議など)
11日(木)	9:30	建設経済常任委員会
12日(金)	9:30	厚生環境常任委員会
15日(月)	9:30	子ども文教常任委員会
16日(火)	9:30	総務常任委員会
17日(水)	9:30	補正予算常任委員会
18日(木)	9:30	議会運営委員会
22日(月)	10:00	本会議(議決、一般質問など)
23日(火)	10:00	本会議(一般質問)
24日(水)	10:00	本会議(一般質問)
25日(木)	10:00	本会議(一般質問)
26日(金)	10:00	本会議(一般質問・議決など)

※各本会議の日には、9:30から議会運営委員会が開催されます。